

## 平成23年度第5回国立大学法人埼玉大学経営協議会議事要録

日 時 平成24年1月19日(木) 15:00～16:10  
場 所 事務局第一会議室  
出席者 上井学長、丸山理事、加藤理事、川橋理事、堀理事  
佐々木委員、塩川委員、土肥委員、福田委員、丸山委員  
欠席者 中井委員、吉岡委員  
陪席者 尾崎監事、檜枝監事、西田副学長、高木教養学部長、山口教育学部長、伊藤経済学部長、山口理工学研究科長、中林理学部長、佐藤工学部長

### 前回議事要録の確認

平成23年度第4回国立大学法人埼玉大学経営協議会(平成23年11月15日開催)議事要録(案)の確認が行われ、了承された。

### 報告事項

- 1 平成23年度第3次補正予算について  
丸山理事から、平成23年度第3次補正予算について、配付資料に基づき、報告があった。
- 2 平成24年度予算の内示について  
丸山理事から、平成24年度運営費交付金の内示額について、配付資料に基づき、報告があった。

### 主な意見は次のとおり

特別運営費交付金の「教員養成機能の充実」について、現時点でどのような取組を考えているのか。

また、「国立大学改革強化推進事業」についても、現時点で考えているものがあれば教えていただきたい。

上記意見に対して、学長から、「教員養成機能の充実」については、現在、大学として具体的な取組は検討していないが、今後、教員養成のレベルを上げる取組を教育学部と検討していく旨の説明があり、教育学部長からは、教育学部と附属学校の連携を強化して教育実習の効果を上げていく取組を企画している旨の説明があった。

また、理事から、「国立大学改革強化推進事業」については、具体的な交付要綱が定まっていないことや、文部科学省でどういった経費を考えているか明確に把握できていないので、今年度中にワーキンググループを立ち上げ、資料及び情報を集めて課題を整理していきたい旨、説明があった。

上記説明を受け、委員から、「国立大学改革強化推進事業」については、様々なことが提示されると思うが、それらを参酌しつつ、大学の独自性や特色を発揮できる取組を検討して欲しい旨、発言があった。

震災による放射能の除染について、関東では荒川の中流域に多く蓄積しているのではないかとされており、今後大きな問題となる可能性があると思う。

これに対し、大学が長期的に環境影響評価を追跡していくことは非常に重要で、他の研究機関や企業ではなかなかできない研究であり、日本の将来、世界の将来のためにどのようなことが起きているのか観察していく必要があるのではないかと思う。

このような調査研究は、個人ごとに行っているケースはあるが、組織として取り組んでいる機関はないので、今後埼玉大学で取り組んではどうかと思う。

また、昨年、私が評議員をしている沖縄科学技術大学院大学の創立記念式典で、私立大学、公立大学の関係者から、積極的にグローバル化する努力をしている旨の話の伺ったが、国立大学ではそのような試みがないと感じている。

今後、少子化で留学生対策が重要となってくるので、埼玉大学でもグローバル化の取組を検討いただけたらと思う。

上記意見に対し、理事から、荒川の河川敷等については、工学部建設工学科が埼玉県の県土整備部との連携協定のもと様々な研究を行っているが、放射線に関する研究は個人で行っており、今後、大学としてどういった活動ができるか、県と相談しながら検討していきたい旨、説明があった。

また、学長、理事からグローバル化の取組については、「国立大学改革強化推進事業」で予算措置の可能性もあるので、今までのような規模でなく大規模な取組を行うよう検討を始めたところであり、学内でまだ議論はしていないが、海外の大学と密接した連携体制を築く取組を考えており、早急に検討していく旨、説明があった。

### 3 平成23年度科学研究費補助金採択状況等について

川橋理事から、平成23年11月21日現在における本学の科学研究費補助金の採択状況等について、報告があった。

#### 審議事項

##### 1 平成23年度学内予算によるプロジェクト事業について

丸山理事から、平成23年度学内予算によるプロジェクト事業について、配付資料に基づき説明があり、審議の結果、了承された。

##### 2 平成23年度年度計画の変更について

西田副学長から、平成23年度第3次補正予算の成立により、東日本大震災で被

災した学生に対する授業料免除事業、及び設備の復旧整備に係る運営費交付金が措置されたことに伴い、平成23年度年度計画の一部を変更する必要がある旨、配付資料に基づき説明があり、審議の結果、了承された。

その他

1 次期学長候補者について

学長から、12月13日に開催された学長選考会議において、上井学長が次期学長候補者として決定された旨、報告があった。

2 財務レポートについて

丸山理事から、昨年度に引き続き、平成22年度の取組を各ステークホルダーへ公表するための財務レポートを作成した旨、報告があった。

主な意見は次のとおり

財務レポートは、平成22年度の取組を平成23年度で報告するものなので、いつの取組かがわかりやすいように、標題の2011を2010～2011と修正した方が良いのではないか。

上記意見に対し、学長からそのように修正する旨、説明があった。

財務レポートの「在学生・受験生の皆様へ」で、埼玉大学成績優秀者奨学金のことが記載されているが、大学の奨学金はこれが全てか。埼玉大学が優秀な学生を集めるとかグローバルな展開を目指すのであれば、このような奨学金が少なすぎるのではないか。

また、優秀な学生を集める切り口としての取組を検討したらよいのではないか。

上記意見に対し、学長、理事から、大学独自の取組は、掲載しているもので全てであるが、他に日本学生支援機構からの奨学金や授業料免除などの支援は行っていること、今後、大学独自の奨学金については、寄附金を充実した上で、増やしていければと考えていること、及び奨学金は、大学独自で行っている他に様々な奨学金があり、大学としては単なる窓口でなく、学生が利用しやすい形で、しっかりと奨学金が活用できるよう示していくことが課題だと認識している旨、説明があった。

4 次回日程（平成24年3月29日（木））

学長から、開催時間については、改めて各委員の都合を調整したい旨の連絡があった。